

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経営学部	国際経営	学科 専攻
派遣先大学 (国)	UNIVERSIDAD CATOLICA DE VALENCIA (Spain)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Business Administration and Management		
報告書提出日	2019年9月23日		
留学予定期間	2019年9月～2020年1月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： () /合計

航空券代： 280,000 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他 ()： () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

◇事前準備について

4月初旬に大学指定の保険に加入しました。

6月初旬に留学許可証が大学から届き、現地の不動産会社の連絡先をいただきました。

6月半ばに航空券を取りました。同時に渡航先での宿泊先を探し始めました。

7月初旬にスペイン大使館に行き、VISAの申請を行いました。

その際の持ち物は以下が必要となりました。

1.写真(4.5×3.5cm) 2.パスポート 3.入学許可証 4.経済能力を証明する書類

5.海外旅行保険 6.航空券の予約確認証

※原本とコピーが必要になります。

※短期留学と長期留学では必要書類が異なることがあります。

同じ派遣先の大学に通っていた先輩からアドバイスをいただき準備を進めました。

◇困難だった点、失敗談

宿泊先が決まっていないとVISAの申請ができないという記事を見たことで

VISAの申請が遅くなってしまいました。実際は、宿泊先が決まっていなくても申請が可能です。

寮のない大学のため早くから不動産会社と連絡を取り、契約を済ませることをお勧めします。

1.2. 渡航について

ANAで航空券を予約し、羽田発、フランクフルト経由でバレンシアに向かいました。

バレンシア空港から物件の最寄り駅までは地下鉄を利用しました。

約20分電車に乗り、駅から不動産会社に指定された場所へ鍵を受け取るため20分歩き、

そこから更に 10 分ほどアパートまで歩きました。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

◇手続き方法

渡航前にひと月分の家賃を海外送金するよう指示があったので 560 ユーロを振り込みました。今後は 1 週間に 140 ユーロ支払う予定です。

◇気付き

シェアアパートは鍵付きで一人一部屋用意されており、共同利用がトイレ、シャワー、キッチンとなります。

リビングがないのでご飯を部屋で食べなくてはならない点、洗剤をはじめドライヤーなど揃っていない備品があり、困ったので現地で購入しました。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

6 か月以内に帰国するため、ありませんでした。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9/4 オリエンテーション：大学の活動やキャンパスの説明を先生や学生方から受けました。

9/6 授業開始：どの授業も初回には評価のつけ方の説明がありました。

9/19 歓迎会：参加者それぞれが母国の料理を持ち寄って開かれる

『multicultural diversity dinner』という学校主催のパーティーがありました。

9 月中 履修登録期間：キャンパスに設置されている international office に行く、ないしメールで履修登録を行います。

10 月 学生証の発行：データ上での学生証は 9 月の中旬にもらうことができますが、カードの発行は 10 月に入ってからになります。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

過去の TOEFL などのテストでリスニングが苦手分野と分析できたので克服するためシェアアパートや大学で話す機会を多く設けていくつもりです。帰国後に TOEIC で 800 点取れるように勉強を進めています。また、現地の人々との交流やバレンシア各地の観光など現地への理解も深めていきたいと考えています。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学に向けて LL 準備教室に通い、教材を用いて学習を行っていました。

学習面のアドバイスを活かし、継続的に学習を行うことで TOEFL のスコアを上げることができました。現地に來てみると、ネイティブの人たちの話すスピードが速いため、聞き取るのが難しく講義を理解するのが大変だと感じているので、日本にいる間に出来るだけ英語に触れる時間を確保してお

くべきだったと反省しています。今後は現地のスピードに耳を慣らしていきながら、会話の機会を増やしていき、リスニング力、スピーキング力を向上させていきたいです。

3.3. 今月の学習・研修目標

リスニングとスピーキングに課題を感じているため、同じ講義を受けている学生と仲良くなり、講義の中でわからなかった点、聞き逃してしまった点などを尋ね、理解を深めたいと考えています。

また、バレンシアに住むスペイン人と仲良くなったので密に連絡を取り、授業以外でも語学力を向上させていきたいと考えています。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	1 限 Principles of Management(08:00~10:00) 3 限 Human Resource Management(12:30~14:30) 4 限 Espanol(15:00~17:30)
火	
水	1 限 Marketing II (08:00~10:00) 2 限 Principles of Management(10:30~12:30) 4 限 Espanol(15:00~17:30)
木	1 限 Human Resource Management(08:00~10:00) 3 限 Marketing II (12:30~14:30)
金	
土	
日	

4.2. 授業について

①Principles of Management(120 分/1 コマ) (2 コマ/週)

授業の内容：効率的かつ効果的に企業が事業を行うには何を重要視し、何が必要であるかなど、実際の企業の事例を用いながら、先生の問題提起に学生が自由に意見を言い、授業が進行します。

授業のスピードは速くはありませんが、1Unit ごとに writing のテストがあるため、十分な復習が必要になっています。

評価の方法：Attendance10% case study40% Final exam50%

②Human Resource Management(120 分/1 コマ)(2 コマ/週)

授業の内容：『The 7 Habits of Highly Effective People』という著書を使用し、

5~6 人のグループに分かれ、ディスカッションを行い、準備期間を経て、

各グループ 40~60 分のプレゼンテーションが課せられます。

また、他にも著書を用いて授業が進行していく予定です。

評価の方法：Attendance10% case study40% Final exam50%

③Marketing II (120 分/1 コマ)(2 コマ/週)

授業の内容：企業の生み出す製品にはどのような工夫がなされているのか、また、それらの製品はいかなる手段を用いて販売促進がされているかなどを
実在する企業の事例と共に理解を深めてゆく授業になっています。

こちらの授業も 1Unit ごとに writing のテストが実施されます。

評価の方法：Attendance10% case study40% Final exam50%

④Español A1(150 分/1 コマ)(2 コマ/週)

授業の内容：主語や動詞といった基礎的なことから授業が始まりました。

10 人以下の少人数のクラスで、リスニングやスピーキング、簡単なゲームなどを通して、
指定された教材を使用しながら授業が進められていきます。

評価の方法：Small exam と Final exam

4.3. 予習・復習・自習について

①の Principles of Management は 1Unit ごとにテストがあるので授業で使用された pdf や
授業内でメモを取ったノートを使い、復習することが求められます。

②の Human Resource Management は発表に向けて資料の読み込みや発表資料の作成などを
各自行い、アプリケーションを使い、授業外でも連絡を取り合い、進めていきました。

③の Marketing II は Marketing I の応用になるのでわからない単語などが授業で使用された際には
復習の時間で意味を調べ、授業の流れと一致しているかなどこまめなチェックが必要になります。

※①～③の授業で宿題は出ておりません。

④の Español A1 は授業で学んだ範囲を教材の中から復習できるページを先生に
アナウンスしてもらえるので自主的に復習を行いました。

また、苦手分野ということもあり、予習も行っていました。

個人的に帰国後に TOEIC で 800 点取るために日本から持参した教材や
現地で購入した本を使い、勉強を進めています。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	民間アパート（その他： ）
----	---------------

日本で普段使用しているスマートフォンを sim カードだけ差し替え、
現地で利用しようと考えていました。

しかし、バレンシア空港には sim カードの販売がなかったため、物件の近くまで電車で移動し、
街の人から sim カードを販売するショップを聞き、購入に至りました。

そのため、渡航前に sim カードを購入するか、sim カードを販売しているお店の
場所を把握しておくことを推奨します。

また、渡航して2、3日は環境の変化により、食が進みませんでした。
エアコンがない物件のため、自宅から小型の扇風機を持参しました。
シェアアパートでは備品を全て自分で調達する必要があります。
信頼できる仲間と住んでいますが、外出の際は窓を閉め、カーテンをし、部屋の鍵を閉めるなど防犯対策を徹底しています。

5.2. 課外活動について

バレンシア市内のレンタル自転車システムである「varenbisi」に登録をし、
休日は自転車で市内を観光しています。
また、現地で仲良くなったスペイン人の友人と市内の観光や海に行きました。
今後は、家の近くにあるランニングスポットでランニングを
健康のために始めようかと検討しています。
スペイン国内だけでなくヨーロッパにも旅行に行きたいと考えていますが、
授業がひと段落してから日程を考えていきたいと思っております。

5.3. 現在までの感想

言語の壁をとて強く感じています。聞き取ったことに対し、異なる理解をしてしまったり、
受け答えする際に上手く表現することができず、伝えられなかったりと日本では困ることのなかった
点に苦労しているのと同時に自分の語学力のなさを痛感しています。
1日でも早くネイティブとストレスなく会話できるよう、リスニングの勉強などに力を入れています。
また、企業からインターンシップの案内などがメールで届き、就職活動への不安を感じることも
ありますが、第一志望の企業で求められる TOEIC のスコア取得や海外でしか経験できないことを
出来るだけ多く学び、留学本来の目的を見失わず、就職活動の方も進めていくつもりです。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11月)

所属	経営学部	国際経営	学科 専攻
派遣先大学 (国)	バレンシア・カトリック大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Business Administration and Management		
報告書提出日	2019年12月4日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

過去の TOEFL などのテストでリスニングが苦手分野と分析できたので克服するためシェアアパートや大学で話す機会を多く設けていくつもりです。帰国後に TOEIC で 800 点取れるように勉強を進めています。また、現地の人々との交流やバレンシア各地の観光など現地への理解も深めていきたいと考えています。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

プレゼンテーションや中間テスト、プロジェクトが行われました。授業内では case study のようなグループワークが多く、意見を言う場で言葉選びや頭の中で考える時間が長くなってしまい、思うように意見を伝えることができなかった点が反省点であり、改善点であると考えています。

中間テストは全て writing になり、専門用語を覚え、テストで説明する必要があるため、十分に時間をかけ勉強に取り組みました。

1.3. 今月の学習・研修目標

留学を開始した時からの課題であるリスニングとスピーキングにより一層力を入れて学習を進めていきます。授業内でのグループワークがそれらの練習になると思いますが、授業外では日本から持ち込んだ学習教材などを利用しながら語学力を向上させていきたいと考えています。

2. 学修について

2.1. 授業について

① Principles of Management (120分/1コマ) (2コマ/週)

授業の内容：効率的かつ効果的に企業が事業を行うには何を重要視し、何が必要であるかなど、実際の企業の事例を用いながら、先生の問題提起に学生が自由に意見を言い、授業が進行します。

1Unit ごとに writing のテストがある予定でしたが、2Units ごとにテストが行われるようになりました。

評価の方法：Attendance10% case study40% Final exam50%

②Human Resource Management(120分/1コマ)(2コマ/週)

授業の内容：『The 7 Habits of Highly Effective People』という著書を使用し、5～6人のグループに分かれ、ディスカッションを行い、準備期間を経て、各グループ40～60分のプレゼンテーションが課せられました。

また、他には教材を使って、企業の雇用について企業視点と労働者視点の両方から考え、重要な要素は何かなどをディスカッションしました。

評価の方法：Attendance10% case study40% Final exam50%

③Marketing II (120分/1コマ)(2コマ/週)

授業の内容：企業の生み出す製品にはどのような工夫がなされているのか、また、それらの製品はいかなる手段を用いて販売促進がされているかなどを実在する企業の事例と共に理解を深めてゆく授業になっています。

こちらの授業も2Unitsごとにwritingのテストが実施されるようになりました。

評価の方法：Attendance10% case study40% Final exam50%

④Español A1(150分/1コマ)(2コマ/週)

授業の内容：主語や動詞といった基礎的なことから授業が始まりました。

10人以下の少人数のクラスで、リスニングやスピーキング、簡単なゲームなどを通して、指定された教材を使用しながら授業が進められていきます。

ELLEのテストを2回行い、最終回には二人ペアでスペイン語のプレゼンテーションをする予定です。

評価の方法：Small exam、Final exam、presentation

2.2. 予習・復習・自習について

①のPrinciples of Managementは2Unitsごとにテストがあるので授業で使用されたpdfや授業内でメモを取ったノートを使い、復習することが求められます。

②のHuman Resource Managementは発表に向けて資料の読み込みや発表資料の作成などを各自行い、アプリケーションを使い、授業外でも連絡を取り合い、進めていきました。多くの回で次の授業でどんな内容を取り扱うかアナウンスされるため復習よりも予習に力を入れています。

③のMarketing IIはMarketing Iの応用になるのでわからない単語などが授業で使用された際には復習の時間で意味を調べ、授業の流れと一致しているかなどこまめなチェックが必要になります。
※オンライン上で提出する課題が授業の進行に合わせて課せられています。

④のEspañol A1は授業で学んだ範囲を教材の中から復習できるページを先生にアナウンスしてもらえるので自主的に復習を行っています。
また、クラスメイトのレベルの高さに刺激を受け、勉強のモチベーションにしています。

2.3. 語学力について

英語に関してはリスニング力とスピーキング力に課題を感じています。留学を開始した当初に比べると授業を受けていて聞き取れる単語の数は多くなったように感じていますが、理解できていない部分もあ

るのが現状です。以前はリスニングの勉強に力を注いでいましたが、今は同じくらいスピーキングの練習に取り組むようにしています。

スペイン語は簡単な日常会話に慣れ、文法の理解は深まりましたが、リスニング、スピーキングには大きな課題を感じているので、授業を通して学習していきます。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	民間アパート（その他： ）
----	---------------

バレンシアは年間を通じて雨が少なく、日差しが強いので日中は暖かく過ごしやすいです。しかし、朝晩は11月中旬から冷え込むため、ジャケットなど羽織るものが必要になります。

食事は週の5日以上、自炊をするようにしており、週末に外食をすることが多いです。作業をする際にはカフェで行うことも多くなりました。

住居に関してはエアコンやヒーターがないので部屋の中でも少し肌寒く感じる場合があります。また、大学から紹介していただいた Euroace で契約すると家賃が高いことがわかったので部屋探しは空き部屋を持つオーナーに各自でメールをし、契約を結ぶことをお勧めします。

3.2. 課外活動について

休日はルームメイトやインテルカンビオで仲良くなったスペイン人とご飯に行ったり、観光スポットを案内してもらったりして過ごしています。課題やテストの準備、プロジェクトが日本の大学よりも大変なため、休日に勉強や準備に割くことが多く思うように旅行に行けていませんが、年末の授業が落ち着いた頃に国外旅行を計画しています。

3.3. 現在までの感想

留学を開始した当初と同様に語学力への課題を強く感じています。聞き取ったことに対し、異なる理解をしてしまったり、受け答えする際に上手く表現することができず、伝えられなかったりと日本では困ることのなかった点に苦勞しています。そこでの悔しさをバネに日々勉強に取り組んでいます。

就職活動に関しては夏に行かせていただいたインターン先からセミナーのお誘いや、その他冬のインターンの案内がメールで届きますが、メールのチェックや自己分析などをする程度で現在は動いていません。語学と就職活動のバランスを取るのがとても大事な時期と把握していますが、留学に来た目的を失わず、後悔しない選択をしていきます。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経営学部	学 科	国際経営学科	3 年次
派遣先大学 (国)	バレンシア・カトリック大学 (スペイン)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Business Administration and Management	履修言語	英語、スペイン語	
留学期間	2019年9月～2020年1月			
報告書提出日	2020年2月6日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
First Semester	9月9日 ～12月20日 (15週)	1月7日 ～1月18日	派遣先大学から指定されたサイトにて個人情報や履修登録などの手続きを済ませました。授業は9月中に確定させ、international office にて正式に登録する必要があります。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
First Semester	Español A1	60 時間	授業は主語や動詞といったスペイン語の基礎的な部分を学ぶことから始まり、10人程の少人数クラスで進行していきました。クラスで指定された教材を使用しながら、リスニングやスピーキングを中心に学びました。 また、中間試験と期末試験、プレゼンテーションが課せられます。試験は DELE の A1 レベルの問題なので過去問などを解き、勉強していました。
		2.5(時間/回) × 2(回/週) × 12(週)	
First Semester	Fundamentals of Business Management	56 時間	効率的かつ効果的に企業が事業を行うために必要なことは何か、優れたリーダーの特徴や企業のコントロールなどについて幅広く学びました。他の授業に比べ、ディスカッションが多い印象がありました。また、ケーススタディや分析レポートなどにも取り組みました。試験は授業内テストが3回と期
		2(時間/回) × 2(回/週) × 14(週)	

			末試験があり、授業で学んだ内容の復習を中心に勉強をしました。
First Semester	Marketing II	60 時間	Marketing I の応用授業となり、企業が製品を売る際に行う企業戦略を中心に実在する企業の事例と共に理解を深めていく授業となります。また、ケーススタディや企業の問題点と改善点を明らかにするようなエッセイにも取り組みました。試験は授業内テストが 2 回と期末試験、グループプレゼンテーションが課せられました。プレゼンテーションはグループによって発表内容が異なり、私たちは新しいパーキングアプリを考えるといったものでした。
		2(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	
First Semester	People Direction	60 時間	『The 7 Habits of Highly Effective people』という著書を使用し、5~6 人のグループで各章を担当し、40~60 分のプレゼンテーションを行うことから授業が始まりました。そこで学んだ知識をもとに授業では雇用や人事評価を中心に理解を深めていき、ケーススタディやエッセイにも取り組みました。試験は中間試験と期末試験の 2 回でした。試験勉強は範囲がとて広かったので自分の理解が浅いと感じた部分を中心に勉強しました。
		2(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

予習よりも復習に力を入れていました。復習の方法は授業で使用された PDF と授業内でメモを取ったノートを使いながら、自分がわかりやすいようにノートに 1unit ごとにまとめました。わからない専門用語などは意味を調べ、理解が難しい場合にはインターネットで具体例を探し、理解を深めていました。テストは筆記だったので単語の意味を単に理解しているだけでは不十分でした。そのため、テスト勉強では問題を自分自身で作り、英作文の練習などもしていました。

1.4. 語学力について

留学前はスペイン語の学習やその他に時間を割くことが増えたため、英語の学習時間が不十分だったと感じています。留学をスタートしてからは現地でアルバイトをしなかったためその時間を勉強に充てることができました。当初は英語、スペイン語共に文法の勉強を意識していましたが、次第にリスニングの比重が増え、外国人の友達との会話が少しずつ円滑になっていきました。具体的にリスニングの勉強方法は Netflix で映画を見たり、好きな歌手の曲を聴き、発音の練習をしたりと自分の興味のある内容で取り組んでいました。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

短い時間でしたが、常に外国語が聞こえる環境に身を置き、勉強することで新鮮味を感じながら取り組むことができました。英語の学修の成果は授業やプレゼンテーションなどの課題の取り組みからリスニング力の成長を一番感じています。また、筆記テストに備え、ライティングの練習や現地の友達とコミュニケーションをとることでスピーキング力の成長も感じることができました。しかし、まだまだ会話で言いたいことを十分に言えないことなどがあり、新たな課題を見つけることができた留学となりました。

スペイン語の学習時間は短かったこともあり、買い物などの日常会話のスペイン語を理解できるレベルでの帰国となりました。新しい言語を学んでいく中で少しずつ理解が進むことに言語を学ぶ楽しさを感じることができたので継続して語学の学習を進めていくつもりです。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

授業は先生と学生あるいは学生同士のディスカッションが多くあり、その際に言いたいことを十分に言えなかった点などが反省点だと感じています。留学当初からコミュニケーションの重要性を理解しており、積極的に会話をするように心がけていましたが、自分に自信を失い、少し奥手になってしまった期間がありました。留学の終盤では文化や価値観の異なる人とのコミュニケーションの楽しさに気づき語学の勉強を楽しみながらすることができました。留学先で何かしら壁にぶつかることがあると思いますが、失敗を恐れず挑戦し続ければ乗り越えることができると思うので、行き詰ったときは投げ出さず自分と向き合うことが大切だと思います。

2.3. 留学生活で得られたもの

私の場合は一人暮らしをすること自体初めてだったので、スペインでの生活を通して様々なスキルを学び、磨くことができました。特に、約5か月のシェアアパート生活は楽しいという思いだけでなく、文化の違いから生ずるストレスや日本では学ぶことの出来ないことまで初めての経験が沢山ありました。自分が正しいと思っていることを強要するのではなく、まずは相手を理解することから始め、時にコミュニケーションで解決するというように異文化理解の重要性を強く感じました。違いをストレスと感じるのではなく、異文化として理解することができれば、普段の生活がより楽しくなり、相手との距離も縮まるということを知りました。

2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス

もっとアクティブな生活を送ることができれば良かったと感じています。留學をスタートさせた頃は現地の人たちとビーチサッカーをしたり、スペイン人の友達と出かけたりと、アクティブな生活を送り、とても充実していました。しかし、季節の変化や授業が忙しくなったことを理由に数は減っていききました。私の知り合いの中には留學先でジムに通ったり、サッカーチームに所属したりしている人もいました。適度に体を動かすことは健康な生活を送ることに繋がるので留學先でスポーツを通してコミュニケーションを図り、健康を維持することは一石二鳥だと思います。

私の場合は勉強を行きつけのカフェで行い、家でだらけてしまう時間を減らしていました。同じカフェに通うことで店員さんと仲良くなり、何気ない会話や日本好きな店員さんとはジブリや観光地のことで話が盛り上がりました。

また、私は留學期間に計3回の旅行をしました。同じヨーロッパの国でも様々な点で異なり、常に新しいことを学べる時間となった旅行は私にとってストレス解消法の一つになっていました。留學をこれからする方にはストレスを出来るだけ抱えることなく、多くの人と話し、今まで知らなかったことや自分以外の人の価値観を知る機会を大事にしてもらいたいと思います。人との出会いを大切にし、アクティブな生活を送ることで充実した留學生活を送れることでしょう。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年2月6日

所 属	経営学部	国際経営学科	3 年次
派遣先大学	バレンシア・カトリック大学		5 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	一人一部屋、用意されており、4人でキッチンやトイレ、シャワーをシェアしていました。また、シェアアパートのルームメイトはドイツ人とイギリス人、台湾人でした。私の部屋の広さは15㎡以上ありましたが、共有スペースは広くはありませんでした。
3	入居時手続き	デポジットは取られませんでした。契約を交わした不動産会社に指定された場所にて、部屋の鍵を受け取りました。
4	費用（月額）	560 (€) (食費 食費含まない/月)
5	支払方法	原則、30日ごとに現金またはカード払いでした。
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	立地は市内中心部ということもあり、メトロが目の前、スーパーやレストランが近くに複数ありました。
9	アクセス	徒歩の場合は20分くらいかかり、レンタルサイクルを利用すると15分以内で通える距離にありました。
10	留学中の住居に関して アドバイス	不動産会社を仲介してしまうと相場よりも家賃が高くなってしまいますのでオーナーと直接連絡を取ることをお勧めします。

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	ヨーロッパで知名度の高いOrangeにてSIMを購入しました。
4	自宅のインターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）
5	大学内インターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	560 (€) /月
2	食費	300 (€) /月

3	交通費	10 (€) /月
4	通信費	15 (€) /月
5	娯楽費	200 (€) /月
6	図書費	0 (€) /合計
7	学用品 (教科書など)	30 (€) /合計 (5 ヶ月)
8	被服費	350 (€) /合計 (5 ヶ月)
9	医療費	0 (€) /合計
10	雑費・その他	100 (€) /合計 (5 ヶ月)
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	0 (円) /合計
12	ビザ申請関連費	0 (円) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	240,000 (円) /往復
14	その他	50,000 (円) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	1,050,000 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時 : 35,000 円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名 : MUFG) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス	カード決済が進んでいるので現金を必要以上に持っていく必要はないと思います。私は現地で一度も ATM から現金を引き出しませんでした。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	B19 (5 か月分で 53,800 円)
---	-----------------	-----------------------

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
衣服、食料品、文房具、電子機器、洗面用品、携帯扇風機、変圧プラグ、パソコン、折りたたみ傘	
2	現地で購入したもの
衣服、キッチン用品、食料品、掃除用具、お土産	
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
調味料、お茶	

VI. 留学先で困ったこと

家に冷暖房の設備がなかった点が困りました。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

何事も余裕をもって準備することが大事です。特に家賃はバレンシアの場合ひと月 250€~、十分な設備が整ったシェアアパートを探すことができます。バレンシアは第三の都市と言われていますが、物価が安く、スペインの魅力を感じるうえでとてもお勧めできる場所です。スペインに興味をお持ちの方には是非検討してもらいたいです。